

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団の災害時連携強化事業

自治体名

秋田県五城目町

消防団名

五城目町消防団

1 事業の目的・必要性

現在、消防団に配備している防火衣は、全て銀色であるため、災害現場においては先着隊と後着隊との見分けが難しい状況であり、また、長年にわたり更新されていない状況である。

本事業において、先着隊の防火衣を新たなデザインで更新することにより、現場活動時の安全性を高め、さらに先着隊と後着隊との見分けを容易にすることが可能となる。

このことから、消防職団員間の連携強化と消防団員の活動環境の整備が図られ、地域住民へ安心感を与えることができ、消防力の向上と消防団員の加入を促進できる。

2 事業内容

防火衣を団本部へ4着、小型動力ポンプ積載車を格納している消防団消舎（13か所）へ各5着を配備するため、計69着の防火衣を購入する。

3 事業成果

○得られた成果

新たなデザインの防火衣を先着隊に購入配備し、消防職団員間の連携について訓練等を行った結果、災害現場での指揮活動が円滑となり、消防力が強化された。

また、先着隊となる消防団員のモチベーションが向上し、消防団活動が活性化されたことにより、今後の入団促進が期待できる。

○今後の課題

災害現場において、消防職団員間の連携強化は不可欠であるため、継続的に訓練を実施することが重要である。

また、今後も継続して防火衣を更新することで、さらなる消防力の強化と消防団活動の活性化を図ることが期待できるため、更新計画と予算措置の検討が必要である。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
新規入団者	回数	10人	3人	
訓練参加者	人数	100人	42人	
検討会・打合せ	回数	5回	2回	

5 その他参考情報

